

キャッシュレス決済とは！！

～ キャッシュレス決済のポイント ～ （参照：日本マネジメントリサーチ発行小冊子「キャッシュレス決済の基礎知識」）

ポイント1 キャッシュレス決済とは何か

「キャッシュ＝現金」を「レス＝使わない」決済方法を総称してキャッシュレス決済と呼んでいるのです。

「私たちは現金世代です。支払いはキャッシュでないと落ち着きません」というような方もいらっしゃるでしょう。消費者の立場としては問題ない意見かと思えます。しかし否応無しにキャッシュレス化は進んでいます。2008年に11.9%であったキャッシュレス決済の比率は2016年に20.0%と約2倍に伸ばしています。そして政府はこれを2027年に40%まで引き上げると未来投資戦略に明言しています。

ポイント2 導入すべきかは自分で判断する

事業者としてキャッシュレス化に対応するのか否か、判断が迫られています。まず必要なことは、知識としてキャッシュレス決済とは何かを理解し、その上で導入の是非を自ら判断できることです。しっかりと理解した上で導入するのか、導入しないのか、その二択しかありません。何となく世の中の流れに任せいい加減な理解で導入すると、成果が出ないどころか事業継続の重荷になることもあるでしょう。

ポイント3 キャッシュレス決済の手段

主に、「クレジットカード」「デビットカード」「電子マネー」「QRコード」の4種類が存在します。

ポイント4 キャッシュレス決済の分類

総務省がとりまとめたキャッシュレス決済の決済方法による分類は以下の通りです。

・ストアバリュー型

ICカードやパソコン、スマートフォンにあらかじめ現金や預金から電子的貨幣価値を引き落としおき（チャージ）、チャージしたポイントから代金を支払う方法です。例として、セブンイレブンが発行する「nanaco」があります。

一方でネットワーク型の例としては「楽天Edy」のスマホ決済が挙げられます。こちらはスマホアプリなどにネット経由で電子的貨幣価値をチャージする方式です。

・アクセス型

一般的なクレジットカード支払いのイメージをしていただくとわかりやすいかと思えます。アクセス型の特徴として、決済のつど、決済情報をクレジットカード会社などのデータセンターとやり取りして決済を行います。従って決済に少々の時間がかかります。

ポイント5 代表的なキャッシュレス決済方法の紹介

- ①Suica：JR東日本が発行する「Suica」はストアバリュー型のICカードとなります。特徴はIC乗車券である点です。
- ②nanaco：セブン&アイ・ホールディングスが提供する電子マネーです。セブンイレブンで利用する人が多いです。
- ③楽天Edy：楽天が提供する電子マネーです。楽天カード経由で利用するとICカード型になります。
- ④QUICPay：JCBが提供する電子マネーで、「Quick&Useful IC Payment」を略して名づけられています。
- ⑤LINE Pay：LINEの友だち同士で送金したり、お店での決済やオンラインショッピングの支払いに使ったりできる送金・決済サービスです。
- ⑥楽天Pay：楽天が提供する決済手段の一つです。スマートフォンでバーコードを表示しそれを決済時に読み取ります。
- ⑦PayPay：スマートフォンで買い物決済をするためのアプリです。ソフトバンクとヤフーが出資した合併会社「PayPay株式会社」がサービスを提供しています。
- ⑧ORIGAMI Pay：株式会社Origamiが提供するスマホ決済アプリです。主にバーコードを用いて決済を行います。

ポイント6 まとめ

キャッシュレス決済の導入はあくまでも「手段」です。地域のため、お客さまのため、従業員のため、家族のため等、目的はさまざまかと思えますが、その目的を達成するための手段としてキャッシュレス決済を上手に使いこなして下さい。

（作成日 H31.4.12 / 作成者：中小企業相談所 山本）